

6th JAPAN-ASEAN Conference on Men's Health & Aging 開催についてのお願い

Chairperson 堀江 重郎(帝京大学)

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族、被害に遭われた皆様へお見舞いを申し上げます。被災地域の日も早い復興を心よりお祈りします。

6月30-7月2日に予定しております6th JAPAN-ASEAN Conference on Men's Health & Agingについて、わたくしどもは、震災後、開催が可能か慎重に検討して参りました。新幹線、羽田空港、JRなどの交通手段が、既に完全に復旧していること、また懸念された電力需要についても供給量が積み増しされており、停電の可能性が極めて少なくなったこと、さらに最大の問題である原発事故についても、先日東京電力より収拾の工程表が示され、今後大規模な事故が起こる可能性が低くなり、かつ開催地の神奈川では、放射線量も正常値であることから、予定通りの開催は可能であると判断しました。

また震災発生当初より、海外ゲストからのお見舞いや励ましのメッセージをいただき、ありがたいことにこれまで講演のキャンセルが出ていないことにも勇気づけられております。また本会の founder である奥山明彦名誉教授、president の並木幹夫教授からも激励をいただき、深く感謝しております。

いま日本に溢れる悲観的な報道は、人々の希望を失わせるようなものになっています。誰もが無常を感じざるをえないがゆえに、健康への意識も刹那的なものになりがちです。この状況はすぐには改善されないかもしれません。しかし今こそ 男性の健康に関心を寄せるわれわれが、少人数でも立ち上がって、思いやりと励まし、そして感謝のメッセージを送るべきではないかと思えます。

学会の会場の建長寺は禅宗の総本山です。華やかさ、快適さがなく、皆様に多大なご不便をおかけすることと存じます。しかしまたこの簡素で質朴な雰囲気は、幸いにも被災を免れたわれわれが、被災された方への想いと祈りを忘れず、われわれのできることを精一杯してゆく場としてむしろふさわしいことと思えます。ぜひ多くの皆様のご参加を切にお待ちいたします。